(19)日本国特許庁 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平5-50883

(43)公開日 平成5年(1993)3月2日

(51) Int.Cl.5

識別記号

FΙ

技術表示箇所

B 6 0 R 11/02 G09F 9/00 C 9144-3D

312

6447-5G

庁内整理番号

審査請求 未請求 請求項の数13(全 7 頁)

(21)出願番号

特顯平3-212048

attendant

(22)出顧日

平成3年(1991)8月23日

.74

(71)出願人 000004293

株式会社ノリタケカンパニーリミテド 愛知県名古屋市西区則武新町3丁目1番36

(72)発明者 可児 章

愛知県犬山市富岡新町5丁目36番地

(72)発明者 左合 澄人

愛知県豊明市二村台3丁目1番地の1 豊

明団地54棟207号室

(72)発明者 飯島 基

受知県一宮市千秋町芝原309番地

(74)代理人 弁理士 中村 稔 (外7名)

最終頁に続く

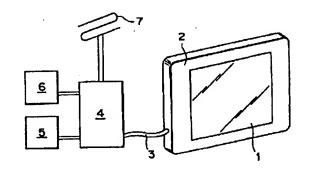
(54) 【発明の名称】 移動体用表示装置

(57)【要約】

【目的】 空間を節約でき、視認性が良くて、且つ多用 途利用が可能な効率の良い移動体用表示装置を提供する ことである。

【構成】 自動車、車両、船舶、航空機等の移動体に搭 載して用いる移動体用表示装置において、フラットディ スプレイおよび表示インタフェース回路を設けた全体と して偏平な表示ハウジング部に対して、電源部、情報メ モリー部、表示制御部等の表示駆動部を設け、表示ハウ ジング部を移動体の固定部に対して可動なように取り付 けるための取付け部を表示ハウジング部に設ける。

【効果】 空間的制約が大きい移動体中に容易に設置す ることができ、操作性が良く適正な位置および角度で表 示を見ることができるようにすることができる。また、 表示部が他に必要な装置を兼用することができるので、 便利であり空間の節約にもなる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 自動車、車両、船舶、航空機等の移動体 に搭載して用いる移動体用表示装置において、フラット ディスプレイおよび表示インタフェース回路を設けた全 体として偏平な表示ハウジング部に対して、電源部、情 報メモリー部、表示制御部等の表示駆動部を設け、前記 表示ハウジング部を前記移動体の固定部に対して可動な ように取り付けるための取付け部を前配表示ハウジング 部に設けたことを特徴とする移動体用表示装置。

【鯖求項2】 前記取付け部は、前記表示ハウジング部 10 の一辺に沿って設けられたヒンジである請求項1記載の 移動体用表示装置。

【請求項3】 前記取付け部は、前記移動体の前配固定 部に取り付けられる軸受け部と、該軸受け部に一端を枢 着し他端を前配表示ハウジング部の一端近くに接続した 回転軸とを備える請求項1記載の移動体用表示装置。

【請求項4】 前配取付け部は、前配表示ハウジング部 の一辺を枢着して前記移動体の前記固定部に取り付けら れるパイプであり、前記表示駆動部は、ケーブルガイド と共に前記パイプ内を通した可撓性ケープルを介して前 20 記表示ハウジング部に接続される請求項1記載の移動体 用表示装置。

【請求項5】 前配取付け部は、ユニパーサルジョイン トである請求項1記載の移動体用表示装置。

【請求項6】 前記取付け部は、前記移動体の前記固定 部に取り付けられるスライド軸受けと、該スライド軸受 けに一端を装着し他端を前記表示ハウジング部に接続し たスライド軸とを備え、前配表示駆動部は、前配スライ ド軸を通した可撓性ケーブルを介して前配表示ハウジン グ部に接続される請求項1記載の移動体用表示装置。

【請求項7】 前記取付け部は、前記移動体の前記固定 部に取り付けられるスライド軸受けと、前記表示ハウジ ング部の一端近くに設けられた回転軸受けと、前配スラ イド軸受けに一端を装着し他端を前記回転軸受けに枢着 させた回転スライド軸とを備え、前記表示駆動部は、前 配回転スライド軸を通した可撓性ケーブルを介して前配 表示ハウジング部に接続される請求項1配載の移動体用 表示装置。

【請求項8】 前記表示ハウジング部には、前記フラッ トディスプレイと同一面に操作キーが設けられている餅 40 求項1から7のうちのいずれかに記載の移動体用表示装 偅.

【請求項9】 前記表示ハウジング部の厚さは、15mm 以下である請求項1から8のうちのいずれかに配載の移 動体用表示装置。

【簡求項10】 前記表示駆動部は、前記表示ハウジン グ部が観視者の視野から離れる位置において表示を消す 機能を有する請求項1から9のうちのいずれかに記載の 移動体用表示装置。

中の場合またはその移動速度が規定値以上の場合に表示 を消す機能を有する請求項1から10のうちのいずれか に記載の移動体用表示装置。

【請求項12】 前記表示ハウジング部は、日除け、テ ーブル、扉、容器の一部のうちの少なくとも一つとして 兼用される請求項1から11のうちのいずれかに記載の 移動体用表示装置。

【請求項13】 前配フラットディスプレイは、液晶デ ィスプレイ、プラズマディスプレイ、エレクトロルミネ ッセンスディスプレイ、発行ダイオードディスプレイの うちの少なくと一つである請求項1から12のうちのい ずれかに記載の移動体用表示装置。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、表示装置に関し、特 に、自動車、車両、船舶、航空機等の移動体に搭載して 用いる表示装置に関するものである。

[0002]

【従来の技術】各種の移動体、例えば、自動車、車両、 船舶および各種の飛翔体等においては、多くの表示装置 が利用されており、必要とされる情報量は増加の傾向に ある。これら移動体に使用される表示装置は、高信頼性 で視認性が良いと共に、軽量コンパクトであることも要 求される。また、情報の種類によっては、表示が不必要 なとき表示装置あるいはその一部が、邪魔にならない場 所に収容できることも要請される。このような情報とし て、例えば、移動体の保守、操作マニュアル、地図、航 路、交通状況、気象状況と言った各種運行に関する情 報、旅行、観光、宿泊案内等の付帯情報、テレビ、ビデ 30 才等の映像情報等がある。保守に関するもので情報量が 少ない場合、例えば、ランプ等の表示器が使用され、ラ ンプ数が少なければコンパクトな装置として実現されて いる。

[0003]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、保守情 報量が増大したり、前述した他の情報においては、情報 量が非常に多いので、平面的な表示機器が必要になる。 このような表示機器の例として、CRT、液晶(LC D)、エレクトロルミネッセンス(EL)、プラズマデ ィスプレイ(PDP)、蛍光表示管(VFD)、発光ダ イオード(LED)等の各種ディスプレイがある。これ ら表示機器の内、CRTは体積が大きく、他のフラット ディスプレイと比較して、移動体用には不利である。フ ラットディスプレイといえども、その電源、駆動装置、 メモリー装置や操作スイッチ等を一体に組み込んだ装置 にあっては、相当な体積を有するものになる。

【0004】こうした表示装置を移動体中で使用する場 合、他の計器や操作装置の邪魔にならないため、設置場 所は制限を受け表示が見にくくなる傾向にある。また、

【請求項11】 前記表示駆動部は、前記移動体が移動 50 フラットディスプレイが、壁面等にはめ込まれて使用さ

-) -- 長夏年 -

3

- 7 1

れる例もあるが、これは、表示という単一用途の利用で あって効率がよいとは貫えない。

【0005】以上説明したように、従来の移動体中での 表示装置は、表示情報量が多いと体積も相当に大きくな り、設置位置が制限され表示が見にくかったり、見にく い場合でもその位置を変えることは困難であった。さら に、表示単一用途しか利用されず効率が悪かったので、 空間を節約でき、視認性が良くて、且つ多用途利用が可 能な効率の良い表示装置が切望されているのが現状であ る.

【0006】本発明の目的は、これら従来技術の問題点 を解消し、空間を節約でき、視認性が良くて、且つ多用 途利用が可能な効率の良い移動体用表示装置を提供する ことである。

.g. .r

[0007]

【課題を解決するための手段】本発明によれば、自動 車、車関、船舶、航空機等の移動体に搭載して用いる移 動体用表示装置において、フラットディスプレイおよび 表示インタフェース回路を設けた全体として偏平な表示 ハウジング部に対して、電源部、情報メモリ一部、表示 20 制御部等の表示駆動部を設け、前記表示ハウジング部を 前記移動体の固定部に対して可動なように取り付けるた めの取付け部を前配表示ハウジング部に設けたことを特 徴とする。

[8000]

【実施例】次に、添付図面に基づいて、本発明の実施例 について本発明をより詳細に説明する。

【0009】図1は、本発明の一実施例としての移動体 用表示装置の全体の構成を示す概略図である。この移動 体用表示装置は、表示部であるフラットディスプレイ1 30 を有する表示ハウジング部2と、この表示ハウジング部 2に可撓性ケーブル3を介して接続された表示駆動部と を備えている。この実施例では、表示駆動部は、表示制 御部4と、電源部5と、情報メモリー部6と、受信装置 7とを備えている。これら各部分は、自動車、車両、船 舶、航空機等の移動体の固定部に取り付けられるもので ある.

【0010】図2に示すように、表示ハウジング邸2に は、その下辺部にそって、ヒンジ81が取り付けられて いて、このヒンジ81を移動体内の適当な固定部に取り 40 付けることにより、表示ハウジング部2は、固定部に対 して矢印方向に回動して、観視者の視認し易い位置に固 定することができる。また、この表示ハウジング部2に は、フラットディスプレイ1と同一面に操作キー9が設 置されている。

【0011】フラットディスプレイ1としては、従来使 用されている各種のものを使用できる。LCDを除く自 発光タイプのものは、照明装置を必要としないので、非 発光タイプのものより薄くできて好ましい。 LCD、P 11

【0012】表示ハウジング部2には、表示インタフェ ース回路を組み込むのが好ましい。すなわち、情報量が 多いフラットディスプレイの端子数は非常に多いので、 表示インタフェース回路を表示ハウジング部2の外に散 けると、連結するケーブル数も多くなってかさばると共 に接続も煩雑となってしまう。この表示インタフェース 回路は、ICや各種チップ部品等を使用し、表面実装技 術によって荐型に形成することができる。

4

【0013】また、図2に示すように、表示ハウジング 10 部2に操作キー9を設けると、操作性が良くなると共 に、ケーブル数を減らすことができ好ましい。キー操作 は、表示を見ながら行なうことが多いので、キーは、表 示面とほぼ同一面に形成すると操作性が良いのである。

【0014】図2に示すように、この実施例では、表示 ハウジング部2にヒンジ81を設けて表示位置を可変と することができるようにしているが、表示装置の可動部 分としては、少なくとも表示部であるフラットディスプ レイ1が含まれなければならない。 フラットディスプレ イ1は、通常、表示ハウジング部2によって保護される ので、この2者が可動部の基本部となる。表示装置の他 の部分、例えば、電源、受信装置、情報の制御およびメ モリー装置等やこれらに付随する部品は、適宜可動部か ら分離するのが好ましい。これにより、可動機構の負担 を軽減でき、空間の有効利用が可能となる。以下の説明 における可動部としては、前述の基本部を念頭として脱 明する。

【0015】表示位置としては、観視者の視野中央部で 正対する角度が望ましいのであるが、他の装置や設置空 間の飼約により、理想位置からずれることもある。した がって、可動機構として移動の自由度が大きいものが好 ましい。表示部が可動であり、移動自由度が大きけれ ば、望ましい位置で表示でき、表示の必要がないとき は、表示部を邪魔とならない場所に移動することができ るわけである。

【0016】図2の実施例では、可動機構としてヒンジ を利用したのであるが、この種の可動機構に使用できる 部品としては、一般に数多くのものが知られており、本 発明に適用できる。例えば、ヒンジの他に、後述する実 施例の如く、回転軸による一軸回転、スライド軸による 直線移動、ユニパーサルジョイント等による多軸回転や パネ、ワイヤー等が利用でき、さらに、これらを組み合 わせたものが使用できる。移動の動力としては、モータ 一、油圧、空圧、パネ等が利用できるが、軽量であれば 手動で充分であって、装置が複雑とならないので好まし い。各ジョイント部には、ペアリング軸受け等を使用す ると移動が容易となり摩耗が少なく保守が容易である。 これら可動部品によって、可動部と固定部が連結され る。一軸回転軸やスライド軸を使用するとき、これら軸 DPは、現状三原色が利用でき、他のものより好まし 50 を表示ハウジング部の一端近くに設置すると、表示の自

- -212

- - - 毛孔子

由度が大きく好ましい。

【0017】可動部が移動する場合、表示は所定位置に 固定される必要がある。この固定に使用する部品も、一 般に数多くのものが知られ本発明に適用できる。例え ば、ネジ、フック、パネ、ピン、磁石等である。スナッ プピンを表示ハウジング部に一体形成すると便利であ

5

【0018】図3は、本発明の別の実施例の移動体用表 示装置の表示ハウジング部と可動機構である取付け部と を示す概略図である。この実施例では、表示ハウジング 10 部2の一端近くに回転軸82の一端が接続されており、 回転軸82の他端は、軸受け83に枢着されている。こ の軸受け83は、移動体の固定部に取り付け固定される ものである。これにより、表示ハウジング部2は、矢印 にて示すように回転軸82を中心として回動自在なもの とされている。

【0019】図4は、本発明のさらに別の実施例の移動 体用表示装置の表示ハウジング部と取付け部とを示す概 略図である。この実施例では、図3の実施例における回 転軸と軸受けとの関係が反対にされていて、回転軸はパ 20 イプ82aで形成され、パイプ82aの一部に関けられ た穴から、可撓性ケーブル3がパイプ中に通されてい る。可撓性ケーブル3には、ケーブルガイド3aが備え られている。ケーブル3は、表示装置を組み立てるとき や、フラットディスプレイ1および表示ハウジング部2 を移動させるときに引っ張られ断線し易いので、このよ うにケープルガイド3αを備えるようにするのが好まし く、また、移動軸であるパイプ82a中に通すのが好ま しい。これにより、ケーブル3は、別性の高い移動軸で 形されることが少なく、断線の危険を軽減できる。

【0020】図4の実施例では、表示ハウジング部2の 下辺にそって軸受け83aが設けられていて、この軸受 け83 aにパイプ82 aが枢着された形とされる。パイ プ82aを移動体の固定部に取り付け固定すれば、表示 ハウジング部2は、矢印にて示すように、パイプ82a を中心として回動させられるようになる。

【0021】図5は、本発明のさらに別の実施例の移動 体用表示装置の表示ハウジング部と取付け部とを示す概 略図である。この実施例では、取付け部としてユニバー 40 サルジョイント84が用いられている。したがって、こ の実施例における表示ハウジング部2は、矢印で示すよ うに、あらゆる方向において回動自在なものとされてい

【0022】図6は、本発明のさらに別の実施例の移動 体用表示装置の表示ハウジング部と取付け部とを示す概 略図である。この実施例は、可動機構である取付け部 を、スライド軸85とスライド軸受け86とで構成した ものである。表示ハウジング部2は、スライド軸85の れている。スライド軸受け86は、移動体の固定部に取 り付けられるもので、したがって、表示ハウジング部2 は、矢印で示すような方向に直線的に移動させられうる ものとされる。可撓性ケープル3は、スライド軸85中 を通して延びて端部をコネクタ10aに結線している。 表示ハウジング部2の対応倒部には、コネクタ10bが 設けられていて、コネクタ10 a は、そのコネクタ10 bに対して着脱自在なものとされている。

6

[0023] このようにフラットディスプレイ1および 表示ハウジング部2と可撓性ケーブル3とを着脱可能に すれば、他の表示装置の表示として使用することもでき るので便利である。着脱可能部としては、前述したよう な部分が好ましいのであるが、移動軸やケーブルおよび **着脱に関する止め具等を含んでもよい。着脱可能部にケ** ープルが含まれるときは、ケーブル端もコネクタ構造と すればよい.

[0024] 図7は、本発明のさらに別の実施例の移動 体用表示装置の表示ハウジング部と取付け部とを示す概 略図である。この実施例では、可動機構である取付け部 は、移動体の固定部に取り付けられるスライド軸受け8 8と、表示ハウジング部2の一端近くに設けられた回転 軸受け89と、スライド軸受け88に一端を装着し他端 を回転軸受け89に枢着させた回転スライド軸87とを 備えている。従って、表示ADウジング部2は、矢印にて 示すように、直線方向に移動させられたり、回転スライ ド帕87を中心として回動させられたりしうる。 可挽性 ケーブル3は、回転スライド軸87を通して表示ハウジ ング部2に接続されている。

【0025】図8は、本発明のさらに別の実施例の表示 保護されると共に、移動軸中心部に設置されるので、変 30 ハウジング部と取付け部とを示す観略図である。この実 施例では、可動機構である取付け部は、移動体の固定部 に取り付けられる軸受け91と、表示ハウジング部2の 上辺にそって設けられた軸受け92と、直角に曲げられ た一路を軸受け92に枢着し、他端を軸受け91に枢着 した回転軸90とを備える。従って、表示ハウジング部 2は、矢印にて示すように、水平面内および垂直面内の 二つの回転方向に回動可能なものとされる。

> 【0026】図9は、図8の実施例の移動体用表示装置 を自動車に適用した例を示す概略図である。この例は、 表示装置の表示ハウジング部2が、自動車のフロントガ ラスの内側で運転者の前方で目の高さよりも上方に配置 されるように、自動車内に搭載した場合である。この場 合、表示ハウジング部2は、表示装置の表示部として作 用するだけでなく、日除けとしても機能しうるものであ る。可動部である表示ハウジング部2は、相当な面積を 有するので、これを日除けとして利用することもできる

【0027】図10は、本発明の移動体用表示装置の表 示ハウジング部を自動車の前部座席12の一部として収 先端部に設けられた止め具11によって取り付け固定さ 50 納した例を示す概略図である。図11は、図10に示す 7

-. - 🐧 🕏 . - •

収納状態から、表示ハウジング部2を引き出して見やすい角度に移動させた状態を示す図である。図11に示す状態は、スライド軸93が手前に引かれ、スライド軸93の端部に設けられた軸受け95と、表示ハウジング部2の下方に設置された回転軸94とでその回動位置に保たれている。なお、表示ハウジング部2の上方両側面とこれと対応する収納部に形成されたスナップピン13によって、上部は軽く固定されている。このスナップピン13は、止め具としての用途と共に、回転軸としても機能している。

【0028】図12は、図11の状態からさらにノブ1 4を引いて、スナップピン13を解放し、表示ハウジン グ部2を手前に回転させた状態を示している。回転部に は、表示ハウジング部2がほぼ水平となるように、スト ッパー15が設置されている。図12の状態では、表示 ハウジング部2の表示反対面がテーブルとして利用され うる。このように、表示ハウジング部2は、相当の面積 を有し、且つ通常剛性の高いケースとして構成されるの で、これをテーブルとしても利用することができるので ある。このような用途として、通常、15㎜以下の厚み 20 の表示ハウジング部とするのが好適である。薄いほど、 空間利用の点で有利であるが、表示ハウジング部の等型 化には限界があり、薄すぎると剛性の点で問題が発生す る。好適には、5から10㎜の厚みである。このような 厚みの表示ハウジング部は、前述した日除けやテーブル の他、移動体内の容器の一部や扉としても利用可能であ

【0029】また、本発明の移動体用表示装置の表示駆動部に次のような機能を特たせることもできる。例えば、表示装置の表示ハウジング部のフラットディスプレ 30 イが観視者の視野から離れる位置において、その表示を消すようにすれば、消し忘れによるエネルギーの浪費を防ぐことができる。このような機能は、表示ハウジング部の位置や角度検出スイッチを設けたり、止め具等をスイッチとして利用して、表示駆動部における電源部を自動的にオフとするようにすることにより可能である。

【0030】さらに、移動体の運行者にとって運行中必要の少ない情報、例えば、移動体の保守、操作マニュアル、地図、航路、交通状況、気象状況と言った各種運行に関する情報、旅行、観光、宿泊案内等の付帯情報、テ 40レビ、ビデオ等の映像情報等の表示は、運行中邪魔になったり危険ですらある。このため、移動体が移動中あるいは移動速度が規定値以上になった時に、表示を消すような機能を持たせることは、安全運行の点で好ましい。このような機能は、運行操作頻度が多い自動車運行者にとって特に有用である。このような機能は、例えば、自動者の速度計とスイッチとを運動させて、表示装置の表示駆動部の電源部を自動的にオフとするようにすることにより可能である。

[0031]

【発明の効果】以上説明したように、本発明の移動体用表示装置を用いれば、空間的制約が大きい移動体中に容易に設置することができ、操作性が良く適正な位置および角度で表示を見ることができるようにすることができると共に、表示が必要でない場合、表示装置の表示部を邪魔にならない別の場所に移動できるので、空間の有効利用が図れる。また、表示部が他に必要な装置を兼用することができるので、便利であり空間の節約にもなる。さらに、表示を自動的に消す機能を付加すれば、エネルギーの浪費を省き、また、より安全な運行を可能にすることができる。さらにまた、本発明の移動体用表示装置は、移動体中で使用され、運行者、運行補助者および同乗者に利用されるものであるが、他の装置等の関係から、より空間的制約の大きい運行者と運行補助者にとっ

8

てメリットが大である。 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例としての移動体用表示装置の 全体の構成を示す概略図である。

【図2】図1の移動体用表示装置の表示ハウジング部に 取付け部としてのヒンジを設けた状態を示す概略図である。

【図3】本発明の別の実施例の移動体用表示装置の表示 ハウジング部と可動機構である取付け部とを示す概略図 である。

【図4】本発明のさらに別の実施例の移動体用表示装置 の表示ハウジング部と取付け部とを示す概略図である。

【図5】本発明のさらに別の実施例の移動体用表示装置の表示ハウジング部と取付け部とを示す概略図である。

【図 6】本発明のさらに別の実施例の移動体用表示装置 の表示ハウジング部と取付け部とを示す概略図である。

【図7】本発明のさらに別の実施例の移動体用表示装置の表示ハウジング部と取付け部とを示す概略図である。

【図8】本発明のさらに別の実施例の表示ハウジング部 と取付け部とを示す概略図である。

【図9】図8の実施例の移動体用表示装置を自動車に適用した例を示す概略図である。

【図10】本発明の移動体用表示装置の表示ハウジング 部を自動車の前部座席の一部として収納した例を示す概 略図である。

0 【図11】図10に示す収納状態から、表示ハウジング 部を引き出して見やすい角度に移動させた状態を示す図 である。

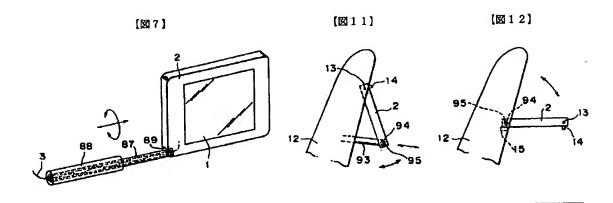
【図12】図11の状態からさらにノブを引いて、スナップピンを解放し、表示ハウジング部を手前に回転させた状態を示している。

【符号の説明】

- 1 フラットディスプレイ
- 2 表示ハウジング部
- 3 可挠性ケーブル
- 50 3 a ケーブルガイド

- - 2 F

特開平5-50883 (6) 10 83 軸受け 4 表示制御部 5 電源部 83a 軸受け 84 ユニパーサルジョイント 6 情報メモリー部 85 スライド軸 7 受信部 86 スライド軸受け 9 操作十一 10a、10b コネクタ 87 回転スライド軸 11 止め具 88 スライド軸受け 89 回転軸受け 12 前部座席 90 回転軸 13 スナップピン 10 91 軸受け 14 ノブ 92 軸受け 15 ストッパー 93 スライド軸 81 ヒンジ 82 回転軸 94 回転軸 82a パイプ 95 軸受け [図3] 【図2】 【図1】 <u>6</u> [図4] 【図5】 [図8] 【図9】 [図6] [図10]



フロントページの続き

(72)発明者 横井 達政

愛知県海部郡八開村大字灣多須字中道74番

地

(72)発明者 浅井 秀之

爱知県愛知郡長久手町大字長湫字中池 5

(72)発明者 神谷 孫典

愛知県豊田市上举母1丁目5

(72)発明者 菊地 直哉

愛知県西加茂郡三好町大字三好字東山300

ノリタケカンパニー独身社宅408

(72)発明者 中野 竜次

愛知県名古屋市中川区豊田町大字戸田字宮

田30番地 戸田荘30棟301

医疗电子

(54) [Title of the Invention] Display Apparatus for Moving Body

(57) [Abstract]

5

10

15

[Purpose] To provide an efficient display apparatus for a moving body, which saves space and provides high visibility as well as is available for multi-purpose use. [Constitution] In a display apparatus for a moving body, installed in a moving body such as an automobile, vehicle, ship and aircraft, a display drive portion including a power source portion, information memory portion and display control portion is provided to a display housing portion provided with a substantially flat display and a display interface circuit. An attaching portion is provided to the display housing portion so that the display housing portion is movably attached with respect to a fixed portion of the moving body.

[Effect] The display apparatus can be installed easily in a moving body that is subject to a substantial spatial restriction. Easy operation of the display apparatus allows the display apparatus to be seen in an appropriate position and at an appropriate angle. The display portion can also be used for other apparatuses required, which is useful and saves space.

[0002]

[Prior Art] Since many display apparatuses are used for moving bodies of various 20 kinds, such as automobiles, vehicles, ships, and flying objects, the amount of information required is increasing. A display apparatus used for these moving bodies requires high reliability and visibility as well as lightness and compactness. It is also required that, depending on the types of information, display apparatuses or a part 25 thereof can be housed in such a place that the apparatus is not obstructive, when not in use. The above-mentioned types of information may include: maintenance and operation manual for a moving body, maps, charts, traffic information, weather information and other operational information; travel, sightseeing and accommodation guides and other accessory information; television, video and other image 30 information. When the amount of maintenance information is small, indicators like lamps, for example, are used. If the number of lamps used is small, the apparatus can be compact.

[Problems to be Solved by the Invention] However, when the amount of information increases or in the case of other information mentioned above, such large amount of information requires a flat display. This kind of display may include a cathode-ray tube (CRT), liquid crystal display (LCD), electro-luminescence (EL), plasma display panel (PDP), vacuum fluorescent display (VFD) and light emitting diode (LED). Among these displays, a CRT, which has a large volume, is disadvantageous to be used for a moving body, comparing with other flat displays. A flat display that incorporates a power source, drive, memory device, operating switch and the like also has a substantial volume.

10

15

5

[0026] FIG. 9 is a schematic drawing to show an example, in which the display apparatus for a moving body according to the embodiment shown in FIG. 8 is applied to an automobile. In this example, the display apparatus is installed in the automobile such that the display housing portion 2 is located inside the windshield, in front of a driver and higher than the driver's eye level. In this case, the display housing portion 2 functions not only as a display portion of the display apparatus but also as a sunshade. The movable display housing portion 2 can be used as a sunshade since the display housing portion 2 occupies a considerably large area,